

関西産業人材News letter

VOL.
03

- 目次
- 産業人材を取り巻く現状…………… 1
 - 特徴的なインターンシップの取組事例…………… 2
 - 関西広域連合域内の人材確保・育成の取組…………… 3
 - 関係団体等で実施する人材関連イベント情報…………… 4

産業人材を取り巻く現状

深刻化する人材不足

日本は、生産年齢人口の減少という構造的問題により、恒常的な人材不足に直面しています。

法人企業景気予測調査の従業員数判断では、大企業、中堅企業、中小企業いずれも「不足気味」超となっています。特に、中堅企業・中小企業では人材の不足感が著しく、人材不足は、経営の不安要素にもなっています。

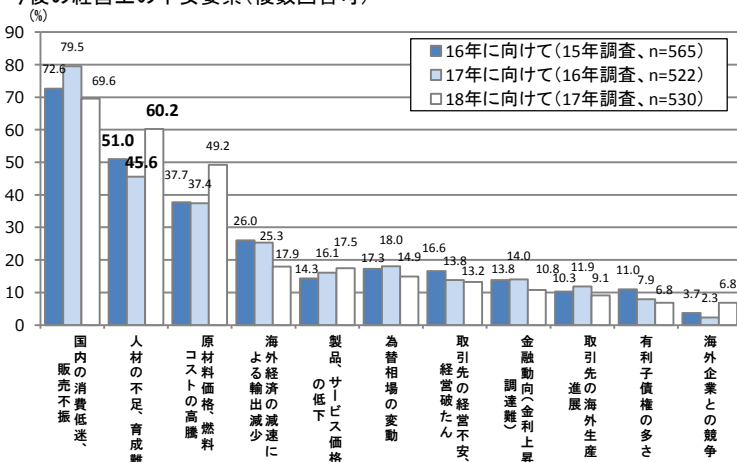
「従業員数判断」BSI(「不足気味」-「過剰気味」)社数構成比)

		平成29年9月末 前回調査	平成29年12月末 現状判断	平成30年3月末 見通し	平成30年6月末 見通し
大企業	全産業	17.0	(14.8)	19.5	12.4
	製造業	11.9	(9.8)	15.2	6.7
	非製造業	19.6	(17.3)	21.7	15.2
中堅企業	全産業	30.9	(26.6)	32.6	21.3
	製造業	29.9	(23.4)	30.4	17.7
	非製造業	31.2	(27.5)	33.2	22.4
中小企業	全産業	28.6	(25.2)	29.5	20.7
	製造業	23.2	(21.3)	29.1	20.4
	非製造業	29.6	(26.0)	29.6	20.7

(注)金融業、保険業を含む。()書きは前回調査時の見通し。

【出典】財務省 財務総合政策研究所「第55回法人企業景気予測調査(平成29年10~12月期調査)」(H29.12.11)

今後の経営上の不安要素(複数回答可)



【出典】日本政策金融公庫「2018年の中小企業の景況見通し」(H29.12.1)

また、経済産業省によると、近年注目されているAI、IoT、ビッグデータ関連に必要な「先端IT人材」のうち2020年に確保できるのは73.0%にとどまっており、こうした専門人材を確保・育成するための取組が必要です。

人材不足の克服に向けて

このような状況を踏まえ、社会全体として人材の最適配置が行われるよう、経済産業省は、平成29年9月に、「我が国産業における人材力強化に向けた研究会」を立ち上げ、①リカレント教育の充実、②転職・再就職の円滑化、③必要とされる人材像の明確化や確保・活用、④産業界として果たすべき役割などをパッケージで検討しています。

また、関西広域連合域内の企業や大学、自治体においても、専門人材の確保・育成のための取組や、次世代を担う人材育成の取組を実施しています。

今回の「関西産業人材News letter」P.3では、域内の人材確保・育成の取組のうち、主に企業向けの取組を紹介しています。

<経済産業省「我が国産業における人材力強化に向けた研究会」HP>

<http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/economy.html#jinzairyoku>

【参考】

- ・財務省 財務総合政策研究所「第55回法人企業景気予測調査(平成29年10~12月期調査)」(H29.12.11)
- ・日本政策金融公庫「2018年の中小企業の景況見通し」(H29.12.1)
- ・経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」(H28.6.10)

特徴的なインターンシップの取組事例

（大阪音楽大学×大阪府「水素エネルギー啓発イベントの企画提案」）

関西広域連合では、域内のインターンシップの質的向上を図り、企業の高度人材の確保に資するため、特徴的なインターンシップの取組事例について、情報発信しています。

今号では、大阪音楽大学と大阪府新エネルギー産業課の課題解決型プログラムの取組内容を紹介します。

【大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻について】
イベントの企画・プロモーションなど、音楽で社会や地域を活性化させる“仕掛け人”を育成することを目的に、2016年春に新設。
※参考URL：<http://www.daion.ac.jp/mco/>

【大阪府新エネルギー産業課の取組について】
水素・燃料電池関連分野における今後の取組の方向性を示す「H2Osaka（エイチツーオオサカ）ビジョン」を策定し、水素エネルギーの需要拡大につながる新たな製品・サービスの実用化による水素エネルギーの普及拡大を図る。
※参考URL：<http://www.pref.osaka.lg.jp/energy/h2osakav/>

きっかけはマッチングイベント

大阪音楽大学が大阪府とのプログラム実施に至ったきっかけは、平成28年6月の「AICALプログラムマッチング相談会」（主催：産学協働人材育成機構AICE）でした。

当時、大阪音楽大学ではミュージックコミュニケーション専攻が新設されたばかりであり、学生が実践的な課題にチャレンジする場として、企業・行政とのつながりを持ちたいと考えていました。

一方、大阪府新エネルギー産業課では、水素の普及拡大を更に推進するため、効果的な普及啓発を行いたいと考えており、両者のマッチングが成立しました。

様々な壁にぶつかる学生

マッチング成立から1年後の平成29年6月に、本プログラムに参加を希望した1年生7人、2年生2人の9人で取組が始まりました。

大阪府から与えられた課題は「水素エネルギー啓発イベントの企画提案」でした。「水素エネルギー」というテーマは、参加学生にとってなじみのないもので、アイデアの創出に苦戦しましたが、ディスカッションを重ねる中で出てきたキーワード「水素→すいそうがく（吹奏楽）」、「水素（H₂:Hが2つ）→Hip Hop」をミックスし、「水素のテーマ曲」を作曲して披露するという企画を考案しました。

イベント実施に向けて、学生は作詞・作曲や演奏を外部に依頼することで、交渉やスケジュール調整など様々な関係者の全体調整を初めて経験しました。

テーマ曲の制作を進める中では、歌詞の内容が行政主催のイベントにふさわしいかどうかという観点で作詞者と行政の間で苦戦しながら折衝しました。

さらに、イベント当日は天候が悪く、リハーサルの方法を変更し、パフォーマンス時間を短縮するなど、内容を一部変更して実施することとなり、柔軟な対応力が求められました。

学生の成長について

今回のプログラム実施中に学生が直面し、乗り越えていった壁は、実際に仕事をする中でも起こりうるものでした。実践的な課題解決を経験することができたため、学生は、イベント終了後に大きな達成感を感じることができました。

特に、中心となってイベントの企画を進めていた2年生には、自分で考えて動く力、物事を進めていく力が身に着きました。1年生には、企画を進める中で自ら進んで動くようになるなど積極性が芽生えました。



イベント終了後の様子

プログラム実施にあたって、失敗や迷いの中から答えを見出すという経験をさせるため、教員は可能な限り答えの出し方を学生に委ねました。そうすることで、「なぜそうなるのか」「自分だったらどうしたいか」を学生が考える機会となり、先を見据えて自主的に物事を進めることができるようになりました。また、失敗する可能性があっても、最後まで学生に任せることにより、困難を突破する力が身につく、どんな場面でも前向きな気持ちで物事に取り組むようになりました。

このプログラムによって、最初から最後まで一つの仕事を成し遂げる経験ができたことが、学生の大きな成長につながりました。

関西広域連合域内の人材確保・育成の取組

【兵庫県】

航空産業非破壊検査 トレーニングセンターの開設

兵庫県は、平成29年末、経済産業省、公益財団法人新産業創造研究機構（NIRO）の支援のもと、国際認証規格（NAS410）に準拠した国内初の訓練機関となる「航空産業非破壊検査トレーニングセンター」を神戸市須磨区の県立工業技術センターに開設し、講習を開始しました。

同センターでは、磁粉探傷試験（MT）、浸透探傷試験（PT）、超音波探傷試験（UT）に関する講習を実施します。



オープニング記念式典の様子

<航空産業非破壊検査トレーニングセンターHP>
<http://www.hyogo-kg.jp/hihakai/>

【ミライト・テクノロジーズ】 ドローン研修施設の開設

株式会社ミライト・テクノロジーズは、平成29年11月に、神戸市に「MTCドローンテクノポート神戸」を開設しました。



研修施設の様子

研修施設では、新たにドローン事業への参入を狙う企業と個人を対象に技術を指導します。

座学と実技を合わせた基本操縦コースの修了者は、業界団体の一般社団法人日本UAS産業振興協議会（JUIDA）が発行する操縦技能証明証と安全運航管理者証明証を取得することができます。

<株式会社ミライト・テクノロジーズHP>
<https://mtc-drone-acad.resv.jp/>

【ダイキン工業×大阪大学】 産学連携でAI人材を育成

ダイキン工業株式会社と大阪大学は、平成29年6月23日に情報科学分野を中心とした包括連携契約を締結しました。

この包括連携契約に基づき、ダイキン工業の社内講座に大阪大学の教員を招き、AIやIoTに精通し使いこなせる技術者の養成を行う「AI人材養成プログラム」を平成29年12月にスタートしました。

<ダイキン工業株式会社HP>
<http://www.daikin.co.jp/press/2017/170623/index.html>

【徳島県×ソフトバンク】 AI等の活用に関する包括連携協定を締結

徳島県とソフトバンク株式会社は、平成29年12月18日に、産業振興、次世代育成、働き方改革など8項目での連携を内容とした「とくしまインダストリー4.0の推進に向けた包括連携協定」を結びました。



協定締結式の様子

最新テクノロジーを学ぶ教育環境を整備し、地域の人材を育成するなどの実証等に取り組み、AIやIoT、ビッグデータの利活用を連携して行います。

<徳島県HP>
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/san-kyo/ict/5008911>

関係団体等で実施する人材関連イベント情報

【企業向けイベント情報】

◆大阪商工会議所「テレワーク・フォーラム」
大阪商工会議所は、人材確保・定着に効果があり、労働生産性の向上に寄与する「テレワーク」を導入し、成果を上げている企業の取組を紹介するフォーラムを開催します。

- ・ 時期：平成30年2月9日（金）14:00～16:30
- ・ 場所：大阪商工会議所 6階 末広の間
（大阪市中央区本町橋2-8）
- ・ 問合せ先：大阪商工会議所 人材開発部 研修担当
TEL 06-6944-6421

<大阪商工会議所 フォーラムHP>
<https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/201712/D27180209016.html>

【求職者向けイベント情報】

◆日本創生のための将来世代応援知事同盟「第3回 いいね！地方の暮らしフェア」
日本創生のための将来世代応援知事同盟（滋賀県、鳥取県、徳島県が構成県として参加）は、全国の若い世代の地方移住の促進を目指すため、東京都（豊島区）で「いいね！地方の暮らしフェア」を開催します。

- ・ 時期：平成30年2月18日（日）10:00～16:00
- ・ 場所：池袋サンシャインシティ 文化会館4階
展示ホールB（東京都豊島区東池袋3-1-4）
- ・ 内容：地方転職シンポジウム
各県による移住・就業に関する相談ブース&特産品販売ブース 等
- ・ 当該同盟構成県：岩手県、宮城県、福島県、長野県、三重県、滋賀県、鳥取県、広島県、山口県、徳島県、高知県、宮崎県、岡山県（平成29年度事務局）

<イベントHP>
<http://www.iine-locallife.jp/>

◆和歌山県「わかやま就職フェアin東京」
和歌山県は、県内へのU・Iターンを希望している社会人と学生をサポートする就職フェアを東京都（新宿区）で開催します。

- ・ 時期：平成30年3月9日（金）13:30～16:00
- ・ 場所：東京新卒応援ハローワーク
（東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル21階）
- ・ 内容：個別企業説明会
- ・ 対象：一般求職者、平成30年3月及び平成31年3月卒業予定の大学・短大・高専・専門学校生
- ・ 問合せ先：和歌山県経営者協会就職支援センター
TEL 073-497-8001

<イベントHP>
<http://www.wakayama-uiturn.jp/>

◆徳島県「徳島で働こう！IT業界マッチングイベント 2018 in TOKYO」
徳島県は、県内にオフィスのあるIT企業と、県内での就職を希望するIT人材をマッチングするイベントを東京都（渋谷区）で開催します。

- また、イベントでは、県内で研究が盛んな人工知能（AI）をテーマにした講演や、来場者に対する個別相談を実施します。
- ・ 時期：平成30年3月10日（土）13:15～16:45
 - ・ 場所：新大宗ビルエイト FORUM8
（東京都渋谷区道玄坂2-10-7）
 - ・ 対象：UIターンにより徳島県内のIT関連企業への就職を希望する方
 - ・ 問合せ先：徳島県 商工労働観光部 企業支援課
TEL 088-621-2326

<イベントHP>
<https://www.ten-shoku.net/IT2018/>

発行元

関西広域連合 広域産業振興局

〒559-8555

大阪市住之江区南港北 1-14-16

大阪府商工労働部 商工労働総務課内

TEL 06-6614-0950 FAX 06-6614-0951

URL <https://www.kouiki-kansai.jp/contents.php?id=41>

E-mail sangyo@kouiki-kansai.jp



関西広域連合

- 関西広域連合 広域産業振興局NEWS -
メルマガ会員募集中！

「関西広域連合 広域産業振興局NEWS」では、この「関西産業人材News letter」発行のお知らせなど、みなさまにご活用いただける情報を毎月1回発信しています。

ぜひ、ご登録ください♪（登録無料）

※メルマガ登録サイトへは、QRコードを読み取るか、以下のアドレスあてに空メールを送信してください。

kansaisangyotouroku@qt15.asp.cuenote.jp

